

平成29年9月28日

## お得意様各位

兼松アグリテック株式会社

拝啓 貴社益々ご繁栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

### 配合飼料販売価格のご案内

平成29年10-12月期の配合飼料価格に付きまして以下の海外穀物原料情勢及び外国為替、海上運賃等により改定させて頂く事になりましたので、ご案内申し上げます。

#### 穀物情勢

とうもろこしのシカゴ定期は、生育期の天候により大きく値が動き一時400セント台まで上昇。その後、天候の回復や米国農務省の需給見通しの好転などにより現在は350セント台となっている。

今後は、収穫期の天候に左右される展開が見込まれる。  
また、主に肉牛飼料に使用される大麦の相場は、主産地の豪州が早魃により価格が上昇している。

#### 副原料情勢

大豆粕のシカゴ定期は、高温乾燥懸念による作柄悪化懸念から\$360台まで値上がりした。その後、天候の改善により下落し、更に需給見通しで単収上方修正されたことから軟調な展開がつづき、\$330台となっている。

国内大豆粕価格はシカゴ定期の下落などにより値下がりが見込まれる。

#### 海上運賃

米国ガルフ・日本間のパナマックス型海上運賃は、5月には\$37前後で推移していたが、中国向けの大豆や石炭需要などに加え南米穀物輸出が増加したことなどにより現在は\$40を超える水準で推移している。  
今後も引き続き輸送需要が旺盛であると予想されることから堅調に推移すると見込まれる。

#### 外国為替

為替相場は、6月中旬110円台であったが、米国の利上げが6月に行われ、更に年内の追加利上げが行われるとの見方から114円台まで円安が進行。その後は北朝鮮情勢や大型台風などのリスクの高まりから円高が進み現在は109円台となっている。  
今後は、米国の金融政策や北朝鮮情勢などによるリスクを材料に一進一退の相場展開が予想される。

今後とも品質の向上、生産の合理化に努力し、安全かつ安心な製品の供給に努力する所存ですので、一層のお引き立てを賜ります様お願い申し上げます。

敬具

記

実施日

平成29年10月1日より